

アクティブラーニングの活用事例について
理学研究科附属惑星科学研究センターで実施している
『探査ミッション立案スクール』

- 講師：理学研究科・上野宗孝教授
- 日時：2018年7月20日(金) 13時20分～13時45分
- 場所：理学研究科Z棟2階 Z201・Z202
- 主催：理学研究科



本FD講演では、アクティブラーニングの活用事例として、理学研究科附属惑星科学研究センターで実施している探査ミッション立案スクールの紹介を行います。本スクールは、神戸大学－JAXA大学共同利用連携拠点事業の支援を受けて実施しており、将来の太陽系探査を牽引できる人材を育成することを目的としています。このスクールでは、本学の学生だけでなく、他大学や各種研究機関に属する理学・工学分野の大学院生・若手研究者に加え、宇宙関連企業に所属する若手の技術者・研究者も対象としています。スクールをリードする講師・チューターについても、大学の教員だけではなく、JAXAで実際に開発に携わる研究者・技術者に加えて、民間企業で開発を行っていた技術者も参加し、実践的な内容の講義や指導を進めています。

このスクールでは、宇宙ミッションで必須とされる、システムズエンジニアリングの初歩的な手法を体験できるようにしています。この手法は実験室での実験においても、規模は違うものの暗黙に活用しているものであり、本スクールは非常に幅広い活動に資する教育を提供しています。本FDを受講するだけでは無く、スクール自体に参加して頂くことも、特に実験科学分野における若手研究者には役立つものと思います。



(左) 2017年8月実施分(国立天文台野辺山宇宙電波観測所), (右)統合拠点での実施風景